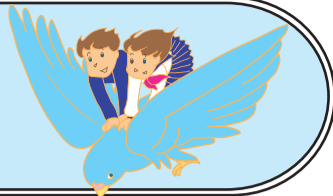


君とつばさ



平成29年 5月20日
発行・公益財団法人 交通遺児育英会
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
(電話) 03(3556)0771
(HP) http://www.kotsuiji.com

©交通遺児育英会

新入生の皆さん おめでとう



交通遺児育英会 理事長

菅谷 定彦

設定目標に全力挑戦を

交通遺児育英会の奨学生である新入生の皆さん、おめでとうございます。
皆さんは親御さんが交通事故に見舞われたため精神、経済両面で苦難の日々を過ごされました。そして現在では困難を克服したくましくなられたと思います。確信を持って新たな学生生活をスタートさせてください。

この機会に私から二つのお願いがあります。
第一はあいさつを励行してください。私が当育英会理事長に就任した平成25年6月直後、石橋専務理事ら

と心塾東京寮を訪れたときのこと、談話室に男子学生が座っていました。石橋専務理事の「新理事長です」との紹介に上目づかいに私をいちべつしただけ。後から入室して来た男性もあいさつしませんでした。
子どものころから親をはじめ先生、友人、先輩、来訪客にはあいさつするのが当然と思っていた私はショックを受けました。その際、石橋さんや寮の責任者にあいさつをよく指導するよう強く要請しましたので、事態は改善していると思いま

すが、奨学生の皆さんには、人とのコミュニケーションの第一歩となるあいさつを欠かさない習慣を、身に付けるようお願いします。
あいさつをしっかりできる人は、世間から好感を持つて迎えられるし、何よりも自分自身が爽やかな気分になるのではないのでしょうか。「情は人の為ならず」と言いますが、あいさつも同じことです。遺児奨学生は礼儀正しくて気持ちが良い—そんな評判を得たいものです。

二つ目のお願いは明確な目標を設定し、ベストを尽くして挑戦していただきたい。言葉とスポーツの両立、外国語の読み書き、会話能力の向上などに加え、運転免許、税理士、保育士といった資格取得など人生目標に役立つ内容も、自ら決めて全力投球してください。

目標は必ずしも達成できるとは限りませんが、めげる必要はありません。若いときの失敗は自己共に許される時間的余裕があるからです。肝要なのは失敗の本質を冷静に分析し、反省することです。孔子の論語に「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ」とあります。

その上で同じ目標に再挑戦するもよし、別の新たな目標達成を狙うのもよし。

自立心と夢をはぐくむ

東西心塾で入塾式

交通遺児育英会の心塾入塾式が4月、東京、大阪でそれぞれ行われ、合わせて34人が寮生活をスタートさせた。



心塾東京寮の入塾式。記念に高野槇の植樹も行った



東京、関西寮 共に17人入塾
東京寮(東京・日野市)では8日、大学、専門学校にこの春入学した男子8人、女子9人の計17人が入塾。
式には12人が出席した。石橋健一塾長(専務理事)が祝辞で「心塾、命名の由来を語り、新渡戸稲造の『武士道』(三笠書房)を引用し、「仁・義・礼・智・信」の精神が「心を育てる塾」の指

針になる、と述べた。職員紹介の後には新入塾生の自己紹介が行われ、在塾生を代表して安藤孝弘・塾生長が、「心塾には皆さんの成長を促してくる環境があり、自立心と夢をはぐくんでくれます。一人で悩まず、困ったときは先輩に相談を」とあいさつし、保護者代表の坂井千代子さんが「どうぞよろしく願います」と心えていた。式閉会後は皆で記念植樹も行った。
関西寮では15日、大阪市内のホテルで、大学、専門学校に入学した男子8人、女子9人の計17人が入塾。開設以来最多で、在塾生と合わせると43人となった。



心塾関西寮の入塾式、在塾生・卒業生も参加

式には11人が出席。石橋塾長の祝辞に続き、心塾関西寮読書感想文講座の今泉哲雄講師があいさつし、関西寮では年4回提出が義務付けられる読書感想文の書き方のポイントをアドバイスした。式閉会後は、先輩の在塾生や卒業生も加わり、懇親会に移行した。新入塾生と在塾生がそれぞれ自己紹介を行い、在塾生が新入塾生に寮生活や学生生活について、いろいろと助言していた。

家賃補助を学寮に拡大
29年度から学寮(学寮の寮や県人会寮など)に在住の方も家賃補助の対象となります。対象の方は奨学課までご連絡ください。
29年上期の給付には、7月下旬までの手続き完了が必要です。
奨学課フリーダイヤル 0120-5521286 (関連記事2面)

このころ
ジンバブエ出身の米国人女性作家、ノヴァイオレット・プラーヴォ氏(1981年生まれ)のデビュー作「あたらしい名前」は、世界的権威の英国文学賞、ブッカー賞の最終候補(2013)に残り、昨年日本でも早川書房から翻訳出版され、話題になった。
▼65年からのローデシア紛争の末、80年に英国から独立したジンバブエ。2000年代には国外からの家族の仕送りで生き延びるような混乱に陥る。
▼主人公(作者)は幼少期を祖国の過酷な状況で生き、10代で叔母を頼り米国へ。だが、暴力や飢餓の世界から抜け出したはずが、米国にも貧困や格差があることを知る。祖国と新天地の間でアイデンティティーが揺れながら、成長する。▼米国は上位1%の富裕層が下位90%の富を上回る。ノーベル賞経済学者のジョセフ・スティグリッツ氏(74)は富裕層や過度な金融取引への課税強化、資本の再分配機能を高めるような公共投資、教育投資の必要性を説く。格差解消につながるから。▼プラーヴォ氏の才能を自覚させたのも、ある意味で米国の教育の力だ。改めて教育の大切さを知る。

本紙は、宝くじの社会貢献広報事業として

助成を受け作成されたものです。



その先に



カメラ：Canon AF35M

東京造形大学 4年
寺内 遥奈

海外語学研修

米へ25人を派遣

1年全員が英検3級以上の取得者



3月下旬に東京で行われた面接審査

海外語学研修参加者 (敬称略、順不同)						
勝見綾	2年女	北海道	中山優香	2年女	京都	
永田詩音	2年女	東京	寺奥みずほ	1年女	大阪	
安藤史織	1年女	〃	村田亮我	3年男	〃	
早川正生	2年女	〃	木村穂菜美	2年女	兵庫	
加藤沙夜	1年女	〃	高田旺紳	1年男	岡山	
桑原野乃佳	1年女	群馬	岡山遥軌	1年男	徳島	
中澤明里	1年女	新潟	須浪優作	2年男	〃	
土田向陽	1年男	〃	伊藤優香	3年女	高知	
戸谷雄大	1年男	岐阜	佐藤龍汰	2年男	福岡	
可児李音	2年女	〃	本永輝	2年男	〃	
岡田麻美	2年女	愛知	新崎好乃	2年女	〃	
三浦可蓮	2年女	〃	姉川宗純	2年男	長崎	
山田彩名	1年女	京都				



(新潮文庫 464円)

新編 銀河鉄道の夜

宮沢賢治 著

29年度の海外語学研修生を決める書類・面接審査が、3月に行われ、アメリカコース25人(3年2人、2年13人、1年10人)が選ばれた。

今年度で「英検3級相当以上」を参加資格条件にして5年目だが、25人の参加者のうち20人がすでに3級以上の資格を得ている。

とりわけ1年生は全員が英検3級の資格取得者で、中学から英検の準備をして語学研修にのぞんでいる。

作文に記した応募動機を読むと、「自分の英語力を現地で試したい」「たくさんの国々の人と交流したい」「ホームステイは海外の文化や習慣に直接触れる絶好の機会だ」「自分の可能性を広げたい」など、参加者は語学研修を自分を磨くチャンスと捉えている。

すでに中学時代に海外ホームステイを体験し、再度挑戦の奨学生もいる。

東京、大阪で行われた面接では、参加者が自己紹介や部活動での活躍

もう読んだ?

映画やアニメを見るように、思いきりイメージを膨らませて視覚的に読む。宮沢賢治の童話はどれも、そんなふうにならされている。

『銀河鉄道の夜』のジョバンニ少年は、夢で仲よしのカムパネルラと銀河鉄道に乗って天の川を旅する。

不在の父、病身の母、学級仲間からのいじめ。少年の不遇を象徴するように、青白い光と寂しさが通奏低音のように全編に漂う。

熱心な日蓮宗徒だった賢治は、天の川を死者が旅する三途の川のように描く。青い鐘、黄色い電燈、橙や緑の光、紫のりんどう、白い十字架……色鮮やかな幻想世界が眼前に広がる。鳥捕り、車掌、灯台守、水

今泉 哲雄 心塾関西寮読書感想文講師

ジョバンニの悲しみに寄り添う

没船の犠牲者らしき姉弟と青年など、旅で出くわす人物も、みないわくありげでミステリアスだ。

二人が「ほんとうのさいわい」探しを誓い合った直後、カムパネルラはその川を渡るように、すつと彼岸へ姿を消す。

此岸に一人残されたジョバンニの悲痛を、作者はあまり説明しない。研ぎ澄まされた詩的な言葉をさりげなくちりばめ、読者に推し量るよう委ねる。

『銀河鉄道の夜』で読者は、作者に誘われるように想像力を刺激される。導かれて、思わず知らずジョバンニの思いに寄り添う。その仕掛けに乗って、夜空を見上げるのもよい。読者それぞれが思い描く悲しげなジョバンニが、星空に像を結ぶかもしれない。

ぶりを英語で真剣にアピールし、「自分の英語が現地で通用するか」「引込み思案が大丈夫かと、面接官に積極的に質問し、「茶道部に参加しているの茶道の文化も伝えられたら良い」「東京オリンピック開催に向けて、英語を習得したい」など、自分の思いを訴えている。

研修生は7月21日に出発し8月11日に帰国予定。3週間ホームステイしながら現地校で学習し、地元の人との交流や観光も体験する。

当初の募集枠はアメリカ30人、オーストラリア4人。例年公益財団法人AFS日本協会の協力を得て行っているオーストラリアへの派遣については、今年度は応募がなくなり、中止とした。

早期資格取得促進 来年度研修の募集要項

は年内に固まる。「英検3級相当以上の資格取得者」を応募資格としているので、来年度の海外語学研修に参加することを考えている高学年(1、2年生)には、英検3級以上、またはTOEIC300点以上などの資格をなるべく早めにとるよう、交通遺児育英会では準備を促している。

なお、アレルギー症状のある人は、研修に耐えられると判断できるような、医師の診断書の提出も前もって必要となるので、注意しよう。

未来車の新材料開発に挑戦

寺内友哉さん(20)

内友哉さん(20)は秋田大学物質科学科の材料工学コースを専攻する。材料工学とは、鉱物などの原料から目的にかなう機能を持つ材料を生み出すための理論と方法を研究し、その材料を製品にするときに必要な技術を開発する学問だ。

「材料はすべての科学・工学の基礎と言われますが、固体燃料電池、超伝導材料、高密度磁気記録材料などの次世代エネルギー、情報エレクトロニクスを支える先端機能材料、耐震高層建築などの未来の構造材料や、レアメタルなどの希少元素に代わる代替材料の開発などに取り組んでいます。ただし、2年前期までは基礎的部分が主で、後期から週2回材料工学演習などの実験科目が始まりました」

はばたく



寺内 友哉さん

秋田大学 理工学部物質科学科 2年

「いまは授業以外で面白いことに挑戦しようと手探り状態だ。高校からのバドミントンと大学で始めたパラグライダーにはまる。パラグライダーは社員の方・博之さん(46)と祖母・時子さん(77)が住む。父は、いざとなると頼りがいがあり、男として筋が一本通っている人です。そこは見習いたい。遊ぶときはどこ

ケジュールを見ると、毎日びっしりで休日もない。ホテルの居酒屋での客席サービスとレストランでのキッチン係を兼ねる。

「東日本大震災があった年

秋田大学手形キャンパスでに育英会の海外語学研修に姉と参加し、若いうちになるべく海外での体験を積んだ方がいいと思えました。それで韓国に友人と一緒に旅する費用をためるために始めたんです。目的も果たしたし、居酒屋のバイトはやめようと思っ

男鹿半島の寒風山にあるスクールで指導を受ける。スクールの校長が日本パラグライダー協会の会長で、月会費3000円で何回でもレッスンを受けるという。

「割安でしょう。空には興味があって、星好きな姉の影響かもしれません。星空と一緒によく見ていましたから」

姉・遥奈さん(22)は東京造形大学4年で心塾東京寮の塾生だ。仙台市の実家には会

とん遊び、人生楽しそう。めちゃ親バカですけどね。祖母もパワフルな人です」

母の千壽子さんは友哉さんが2歳のときに事故で亡くなり、記憶はない(享年27)。「母は画家でした。姉が写真家になろうというのも、その血を引いているのかも」

「ゆくゆくは自動車メーカーや自動車関連機関の研究開発に。誰もやっていない、新しい材料に挑戦したいです」

父方の叔父2人が自動車メーカー勤務で、その影響もあるという。

「最」 近は、サークル活動もままならないほどアルバイトに忙しい。1か月のス

高校で資格取得し「地上支援」

埼玉県所沢市の国際航空専門学校で学ぶ小林瑞希さん(19)。小さいころから空港で働くことを夢見ていた。



「なぜ、エアロサポート科を志望したのですか？」
学4年のとき、空港で男性に交じって、グラウンドハンドリング(航空機地上支援業務)をしている女性

を見かけて、男社会の中で颯爽と仕事をしている姿に憧れて、それ以来、自分も空港で同じ仕事に就きたいと思ったのがきっかけです」



トイングトラクターの運転練習

航空機を滑走路に誘導するのは、特殊車両を接続してその動力により後方に押し出して移動させるんです。これを「ブッシュバック」と言いますが、

「はい、内定をもらったんです。高校時代にすでに資格取得していたこと、皆が持っている資格を持っていて、積極性が評価されたようです。まだ、会社名は言えませんが、成田か羽田で働くことになると思います。2年になったばかりだけど、9月からは内定会社のインターンシップが始まり、学校に在籍しながら研修に通う毎日になります。そう考えると、いま学生としてできることは限られていて、英語や社会人としての一般常識、飛行機の専門知識など身に付けなければいけないことがたくさんあります。学生気分は8月までかな」

小林 瑞希 さん

国際航空専門学校 エアロサポート科2年(所沢市)



機内に貨物を搭降載するための車両

「空港における『グラウンドハンドリング』という航空機地上支援業務全般です。コンテナ貨物を『トイングトラクター』という牽引車で航空機まで運ぶんですが、その運転練習や搭降載の訓練、乗客の案内誘導や燃料補給、客室整備など。また、航空機は地上でバックができないので、

その特殊車両の運転や、到着した航空機を駐機場所に誘導する『マーシャリング』の訓練など、多岐にわたります。クラスは32人。そのうち女子は4人と少ないです」

「高校からの進学の勉強はどうでしたか？」
「とにかく航空関係の仕事をしようと思っていたので、普通は専門学校に入って取得する免許である、危険物取扱者や大型特殊免許、牽引免許を高校で取りました。他にもこの専門学校でも皆が取らないような高所作業車資格や陸上無線技術士の免許も、航空関係の仕事に必要かもしれないと思って、自己啓発を兼ねて取りました」

「先ほど、担任の先生に聞いたら就職先が決まったそうですね。」

「就職が決まってお母さんも喜んでいました。『すごく喜んでいました。高2で父を事故で亡くし(享年58)、7歳上の姉は社会人でしたが、2人とも生活を支えるのが大変で、私だけ進学して1人暮らしするのが負担にならないか迷いました。でも、母は私の夢をずっと応援してくれていたものだから」

「就職が決まってお母さんも喜んでいました。高2で父を事故で亡くし(享年58)、7歳上の姉は社会人でしたが、2人とも生活を支えるのが大変で、私だけ進学して1人暮らしするのが負担にならないか迷いました。でも、母は私の夢をずっと応援してくれていたものだから」

「就職が決まってお母さんも喜んでいました。高2で父を事故で亡くし(享年58)、7歳上の姉は社会人でしたが、2人とも生活を支えるのが大変で、私だけ進学して1人暮らしのが負担にならないか迷いました。でも、母は私の夢をずっと応援してくれていたものだから」

オンステージ

神奈川県は丹沢大山や箱根の山々から里山や市街地近郊の樹林地までいれると、県土の4割を森林が占めるが、近年、丹沢大山のフナヤモミの立ち枯れや、山地・里山の手入れ不足など、森林の荒廃が進む。県では、平成18年に「かながわ森林再生50年構想」を公表し、森林再生に取り組む。なかでも「丹沢大山の再生」は大きなテーマ。自然環境保全センター森林再生部分収林課(厚木市七沢)の鈴木哲平さん(37)は林業技術者として活動する。

「丹沢大山から相模原、足柄、小田原にかけては、県の水源を保護する森林地帯。県では水源税を財源に充て、手入れ不足の山の整備を行って下層に陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用し、多様な樹種の自然林にしようとしています」

戦後から昭和40年代にかけては建築ブーム。国内の木材需要に応じて材価も高く、各地で造林公社が生まれ、山にスギやヒノキを植林していった。ところが、木材の輸入自由化と共に安価な外材の輸入が増え、国産では太刀打ちできない状況に。県でも「かながわ森林づくり公社」が平成22年に解散し、債務を含めて県が引き継いだ。

「私有林は継承者不足で、管理するには技術的にも経済的にも困難な状況です。日本の山は急斜面が多く、そのような場所では伐採しても木を運び出すのにコストが非常に高つくんです。最近では森林作業道を造り、作業車が入れるよう効率化が進んでいますが、急傾斜ではそれはできません」

鈴木さんは多いときには週に3、4日は山に入る。森林の状況を現地や資料で調べ、整備計画を作成し、工事の設計、発注をする。県に技術職として勤務して8年目。最初の3年は県有林、次の3年は三浦半島で林業普及指導員をしていた。そのときの仕事は「いまでも思い出に残る」。

「都市近郊林が広がる三浦半島は、急傾斜地崩壊危険箇所が非常に多いんです。そのほとんどが個人所有で、材価低迷で手入れが行き届かなくなつたのは他地域と同じです。対処したくても金銭的にも技術的にも対処できない状況が、住民と所有者の間に不協和音を生じさせ、住民が行政に苦境を訴えたのです。解決策として、モデル地域を設定して全戸訪問とアンケート、現地検討会を行いました。次にそれを踏まえて、森林所有者、住民、行政が一堂に会してワークショップを開催し合意形成を図り、三者の具体的な役割及び短・中・長期の時系列を配した方針を策定したんです。公的な交付金を利用するために任意団体も設立しました」

下草刈りや枯れ木片づけは住民が主体で行い、危険木の伐採は交付金を利用して業者に依頼。県は住民のために技術研修や相談対応緊急度の高い危険木の伐採安全な経路の整備などを担った。2年間の活動で、危険木の伐採がおおむねなされ、地域の景色も一変。伐採後の材を使った木工やキノコ栽培なども普及した。



森林の位置を測量

鈴木 哲平 さん

神奈川県自然環境保全センター森林再生部分収林課(厚木市)



樹木の成長をチェック

“山の技術者、料理とライブが好き”

「父は私が小2のときに事故で亡くなり(享年36)、母(63)が1人なので。弟(34)が平塚の実家に今はいますが、近い所いようと思ひ、転職しました」
妻・淑子さん(37)と息子・悠君(1歳10か月)と平塚市で3人暮らし。淑子さんも県の職員で平塚市内に勤務する。趣味は、料理とM/H R(ヘビメタル・ハードロック)のライブ鑑賞。もっともいまは子どもの成長が一番の楽しみだとか。

「前には、北海道大学大学院環境科学環境起学専攻を経て、林野庁関東森林管理局に2年ほど在籍した。仕事は今と同じ技術職だ。」「父は私が小2のときに事故で亡くなり(享年36)、母(63)が1人なので。弟(34)が平塚の実家に今はいますが、近い所いようと思ひ、転職しました」

「前には、北海道大学大学院環境科学環境起学専攻を経て、林野庁関東森林管理局に2年ほど在籍した。仕事は今と同じ技術職だ。」「父は私が小2のときに事故で亡くなり(享年36)、母(63)が1人なので。弟(34)が平塚の実家に今はいますが、近い所いようと思ひ、転職しました」

